



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2019th

令和元年 10月31日

11月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345

Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

SFのレガシー #2

校長 鶴飼 数夫

秋霖と呼ばれる秋雨シーズンは、台風の影響もあり、実は梅雨の季節よりも降水量が多い場合が見られます。それにしても、今年ほど雨の多い10月は経験したことがありません。先ずは、先日の台風15・19号およびその後の集中豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。激甚災害に指定された被害は、関東・甲信から東北にかけての広い地域に広がり、自然の脅威を改めて知ることとなりました。幸いにして、滝頭小学校においては大きな被害もなく済みましたが、区内の学校でも校舎や樹木などに被害が出ているところがあるそうです。本校の学区においては、近くに堀割川がありますので、越水・決壊などに備えた防災計画やハザードマップの確認が再度必要であると実感しました。



そんな中、今年も予定通り無事に「滝小スポーツフェスティバル19」が開催できたことに感謝したいと思います。前日の大雨から一転して、さわやかな秋晴れの下、多くの皆様にご来場いただき盛大に実施できました。今年の特徴として、例年以上に参観される皆様のマナーが素晴らしかったということが挙げられます。毎年、会場内外の警備や喫煙・駐車・駐輪対応をしていただいている滝小おやじの会の皆様からの生の声です。また、会場が狭いため、観覧の皆様にはご不便をおかけしておりますが、入替制保護者席も3年目を迎え、ずいぶんそのルールや運用が定着してきました。一方で、敬老・優先席のスペースが足りず、一部の方に不快な思いをさせてしまったこともあり、深く反省しております。来年以降の改善点とさせていただきます。また、閉会式終了後の後片付けに際しては、PTAの役員・委員様をはじめ、会場にいらした多くの皆様に率先してご協力をいただき、あっという間に片付いてしまいました。児童を下校させてから片付けに参加した教職員が、びっくりしていました。改めて、地域の皆様の学校を支えてくださる温かい気持ちを肌で感じることができました。ありがとうございました。

先月号で、「レガシー＝財産・遺産」について触れましたが、まさに、このような姿が本校スポーツフェスティバルを通して後世に伝えたい無形のレガシーなのではないかと思えます。

しかし、最も大切にすべきレガシーは、子どもたちの頑張り成長する姿です。昨年からはじめた、クラスを母体とした3色対抗の形式により、応援にも熱が入りますが、単に勝敗のみを競うのではなく、そこに至るまでの努力の過程や正々堂々と最後まで全力で取り組むフェアプレー精神、それをお互いに認め合い相手をリスペクトするノーサイド精神、などといった価値観が育まれています。演技においては、どの学年も発達段階に応じて、自分のめあてをしっかりともち、みんなで力を合わせてどのような完成形を目指すのか、毎回振り返りながら先生と子どもたちが一緒になって練り上げてきました。当日、子どもたちのやり切ったという満足げな笑顔、涙が心に残りました。特に、6年生では、「ソーラン節をなぜ踊るのか。ソーラン節を通して何を伝えたいのか、どんな自分を表現したいのか。」「ソーラン節を踊ることは、あくまでも手段であって、目的ではない。」ということ意識して取り組んできました。踊っているときの真剣な表情、終わった後の堂々とした誇らしげな佇まいこそ、学校を代表する最高学年として成長した姿でしょう。でも、それさえも卒業という目的地へのプロセスにすぎません。後半の登り坂は、まだまだ続きます。